

安心・共生の21世紀を！

札幌市議会議員・市民ネットワーク北海道 北区



# 石川 さわ子

議会レポート

■コロナ感染拡大の中、ワクチン接種後もマスクや手指消毒などの基本的な感染防止対策は継続しましょう。

- ① 感染やワクチン接種による体調不良、その他の疑問のご相談(毎日9時～21時)  
札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口 ☎0570-085-789
- ② 発熱や咳などの症状がある方(かかりつけ医がない方)のお問い合わせ  
救急安心センターさっぽろ ☎#7119または011-272-7119(毎日24時間)

2022年 春号 発行：札幌市議会 市民ネットワーク北海道 ◆ホームページ <https://snet21.jp/>  
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113



石川 さわ子

## 笑顔あふれるまち札幌・北区をつくりまします

### 石川さわ子 プロフィール

1958年 旭川市生まれ  
77年 北海道旭川東高等学校卒業  
80年 北海道教育大学札幌分校養護教員課程中退  
2011年 札幌市議会議員に初当選  
11～19年 札幌市議会市民ネットワーク北海道幹事長・政審会長、札幌市議会厚生委員・文教委員等を歴任

【現在】 3期目、札幌市議会財政市民委員、総合交通政策調査特別委員、認定NPO法人カラカネイトトンボを守る会顧問、子どもの未来を守る市民の会代表

### 2021年 定例市議会

- ◆第3回(9/17～10/28) 石川さわ子が代表質問。コロナ禍での市民参加・情報共有の充実、子どもや家庭を支援する取り組み、附属機関の公募委員の拡充について等。2020年度一般会計歳出決算1兆2,738億円等各会計決算を認定。
- ◆第4回(11/26～12/9) 商業者グループのデジタル販促応援費、子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付金等521億4,450万円を一般会計で追加補正。

### 2021年 臨時市議会

- ◆第11回(9/13) コロナウイルス感染症予防接種費、飲食店等の休業等への協力支援金の349億3,600万円を一般会計で追加補正。
- ◆第12回(12/21) 子育て世帯への臨時特別給付金、生活困窮者自立支援事業費の129億6,600万円を一般会計で追加補正。

●2020年度新型コロナウイルス感染症関連決算額は2,885億円。2021年度へ264億円を繰り越しました。

●ご意見・ご要望をお聞きかせください。

### 議会活動の報告



本会議場で代表質問に立つ石川さわ子

- ◆秋元市長の答弁を受けて再質問しました。
- 市民参加は政策の立案、実施の段階よりも、評価の段階が難しいと言われている。「情報共有なくして評価なし」を踏まえ、参加、情報共有、評価は連動させるべきです。
- 第2次札幌まちづくり戦略ビジョンにおいて、「市民自治」を明記し、明確に打ち出すことを求めました。

▼切り取り、郵送にてご意見をお聞かせください。

切手はカンパでお願いします

060-0041

市民ネットワーク北海道  
札幌市議会議員

石川 さわ子 行き

札幌市中央区大通東2丁目15-1  
サラサビル4F

## 誰もが住み慣れた地域で 安心して自分らしく暮らしたい

— 2021年第3回 定例市議会の代表質問から抜粋 —

●リユースでプラスチックを減らそう

質問

札幌市はごみ減量に向け、発生抑制・再使用(リユース)をリサイクルよりも優先して取り組んでいます。海外では私たちに身近な「びん」による牛乳配達をビジネスモデルにした容器のリユースシステムが始まっており、日本においても東京都が費用の一部を負担し、民間企業との共同実施で展開されています。消費者は容器代を含む食品や生活用品等を購入し、容器を返却すると容器代が「デポジット」として払い戻されます。道内の協同組合等では「びん」のリユースに取り組んでいます。

札幌市においてもプラスチックごみの削減に向け、容器のリユースシステムの構築をめざすべきですが、どのように取り組むのか。

### 2022年度予算要望「こんな札幌に暮らしたい」を秋元札幌市長に提出



●新型コロナウイルス感染症防止対策を始め、労働者協同組合法への対応、訪問型在宅育児支援や気候危機対策等376項目を市民提案として要望しました。  
(11/26、市長会議室)

答弁

プラスチックの削減に向けては、全国的に企業や団体による様々な取り組みや実証実験が行われているところであり、それらの効果や課題など、まずは情報収集を行っていく。